

JAMA電子情報フォーラム2020

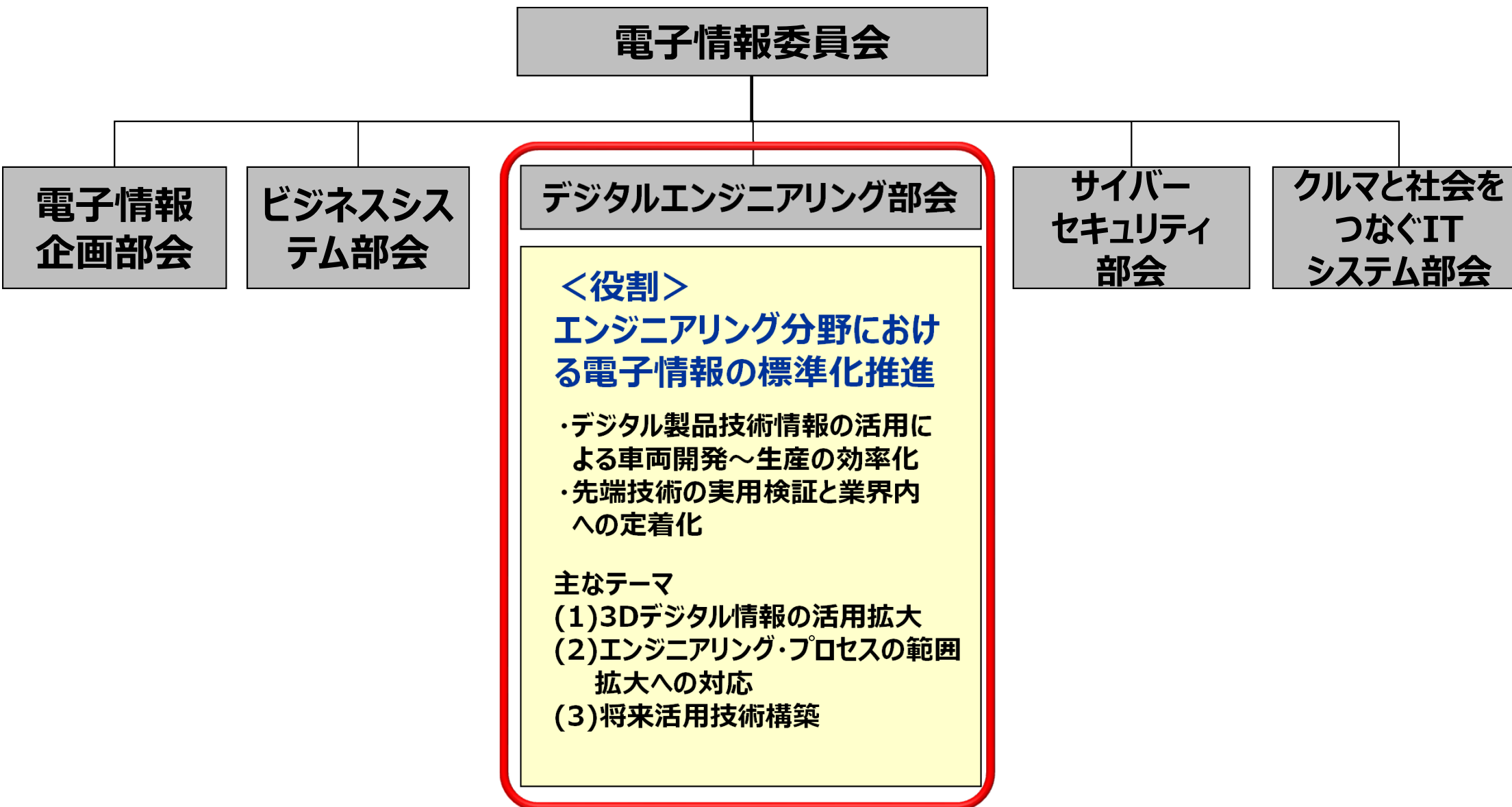
デジタルエンジニアリング部会活動概要

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会
デジタルエンジニアリング部会
部会長：松木 幹雄

2020年2月13日

1	電子情報委員会組織と当部会の位置付け
2	デジタルエンジニアリング部会基本方針
3	外部団体との連携
4	デジタルエンジニアリング部会活動概要
5	活動領域マップ
6	2017-2019中期活動
7	デジタルエンジニアリング部会セッションのご紹介



- 基本理念 -

個社では解決出来ない課題に業界として取組み
業界を越えた標準化による基盤強化と
将来動向を踏まえた先端技術の実用検証により
質の高い新たな日本の「ものづくり」をリードする

- ① ニーズを先取りした標準化、協調、先端技術研究にチャレンジ
 - ✓ 標準開発と活用展開
 - ✓ 業界共通の課題に協調して取組み、実利の高い最適解を導出
 - ✓ 新技術活用を加速し、業界内に定着
- ② 実利が期待できる新たなテーマを発掘し、活動体制を構築



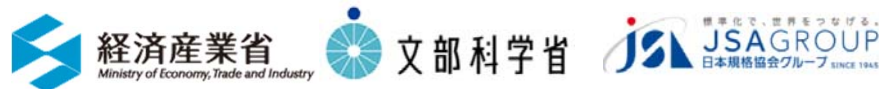
外部団体等との連携

- 政府機関・国内関係団体：JIS化、ISO対応など、標準化開発推進面での協調
- 国際関係団体：ISO対応、ベンダーへの One Voice 活動
- ベンダー：開発した標準のツール実装協力、標準の共同開発、共同研究



ベンダー

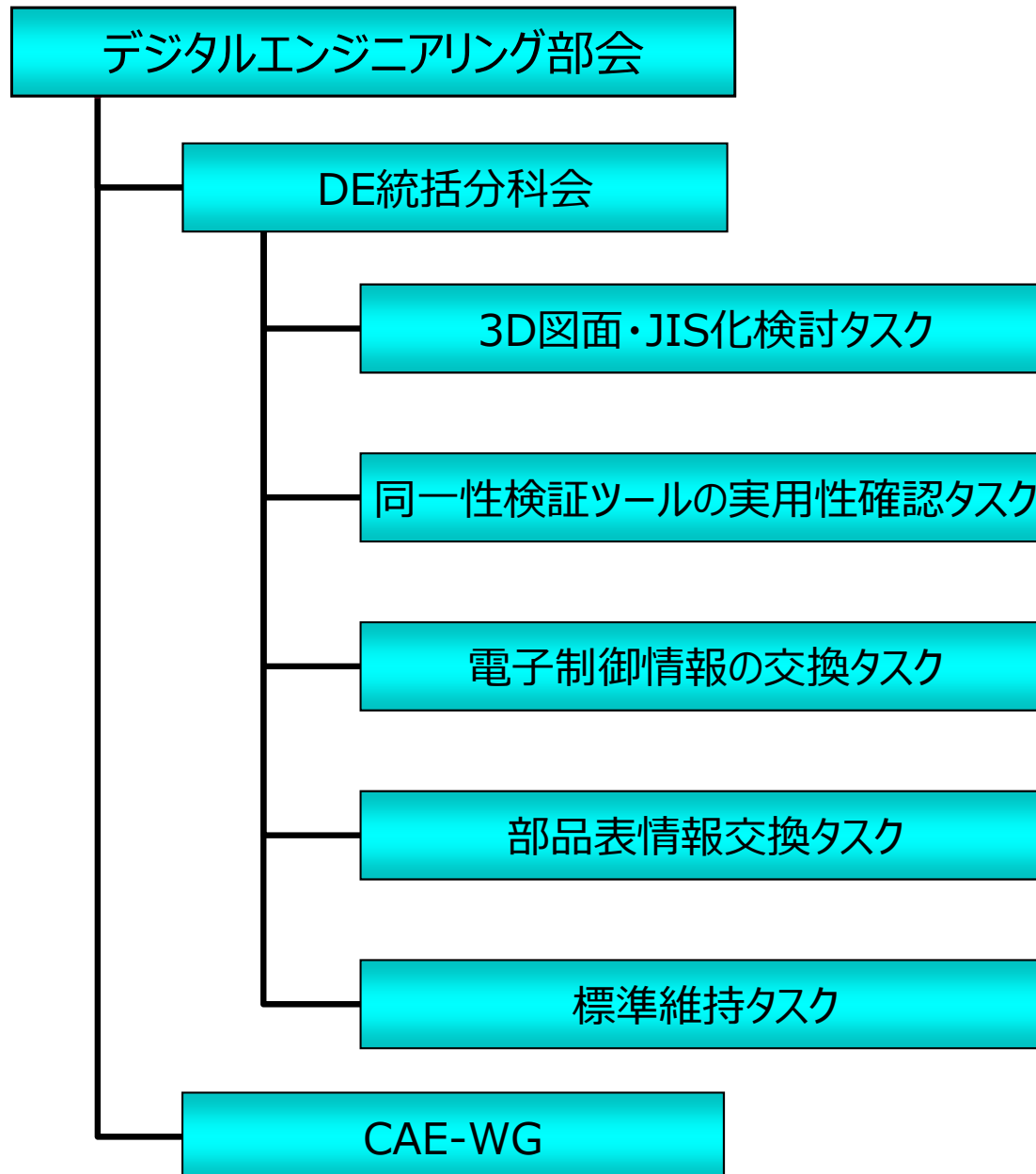
政府機関・国内関係団体



国際関係団体



デジタルエンジニアリング部会活動概要



- DE部会中期計画検討
- 新規活動テーマ検討・提案
- TC184/SC4推進協議会 標 協
- デジタル技術製品文書(DTPD)の規格開発 標 協
- JIS化推進、ISO開発 標 協
- ツール活用のガイドライン実用性検証 標 協
- 情報交換ITツール要件定義 標 協
- SASIG CBDX*運用ガイド作成 標 協
*CBDX : Collaborative BOM Data Exchange
- 開発した標準の維持、普及啓発 標
- スパコン多様化に向けた検証 先
- 富岳(ポスト京)を見据えた先端技術検討 先



活動領域マップ

商品企画

デザイン

設計

実験評価

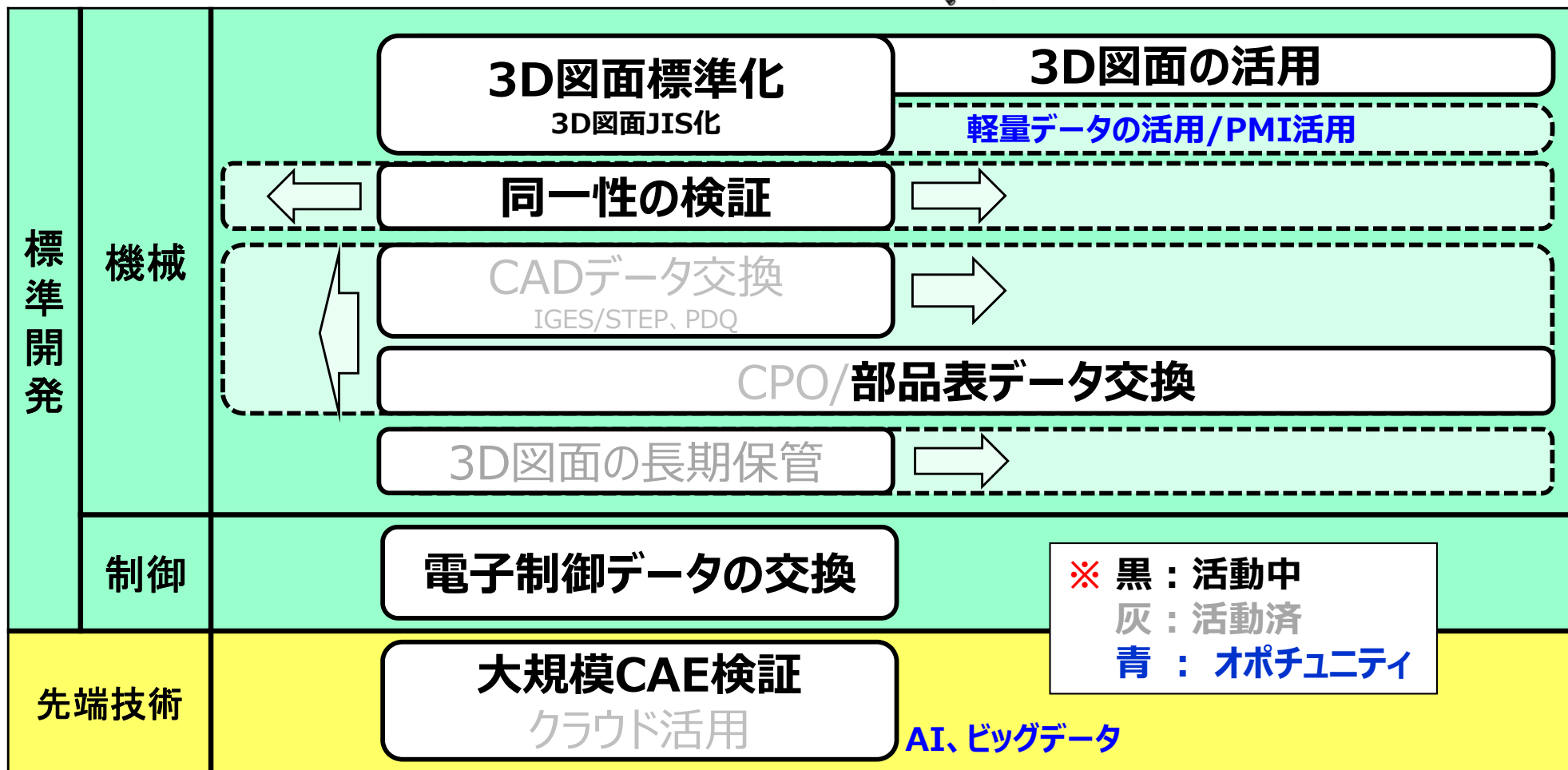
生産準備

調達

生産

物流

サービス



2017-2019中期活動

施策		2017	2018	2019	活動成果
大分類	中分類				
デジタル製品 技術情報の活用による車両 開発～生産の 効率化	3Dデジタル情 報活用拡大	*DTPD規格開発、JIS化推進、ISO開発 *DTPD : Digital Technical Product Documentation			<ul style="list-style-type: none"> ■ JIS 標準全編完成 ■ ISO 標準提案
	エンジニアリ ングプロセス 範囲拡大	同一性検証ツールの実用性確認			<ul style="list-style-type: none"> ■ 利活用ガイドライン完成 ■ 機能要求、実装状況まとめ
先端技術の実用 検証と業界内への定着化	将来活用技術 構築	電子制御情報の交換			<ul style="list-style-type: none"> ■ OEM-サプライヤ流通の ありたい姿定義完了 ■ ITツール要件検証完了
		部品表情報の交換			<ul style="list-style-type: none"> ■ 部品表情報交換 運用ガイド完成・発行
渉外/協調 活動	関連団体との 連携強化	スパコン多様化に向けた検証 富岳(ポスト京)を見据えた先端技術検討			<ul style="list-style-type: none"> ■ 各社検証テーマ計算完了 ■ スパコンベンチマーク
		TC184/SC4推進協議会		SASIGとの関係整理	
業界標準の 普及/定着化	標準維持/改訂	3D図面関連ガイドラインの維持・改訂			<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイドライン維持 ■ 活用アンケート実施

デジタルエンジニアリング部会セッション

13:10～ 会場：B1F 会議室B

	講演タイトル	講演者
13:10-13:15	デジタルエンジニアリング部会講演アジェンダ紹介	デジタルエンジニアリング部会 委員：二宮 正和
13:15-13:35	【招待講演1】自動車メーカーとサプライヤ間の協業のためのDE及びDX活用とは	一般社団法人日本自動車部品工業会 デジタルエンジニアリング促進部会 部会長：大島 昭宏 様
13:35-14:00	【招待講演2】製品開発データ流通の国際標準化動向/その標準活用で国内製造業の国際競争力向上を目指して～それを実現するための日本の標準化推進体制について～	ISO TC184/SC4国内対策委員会 委員(株式会社Iリジむ取締役CTO)：相馬 淳人 様 TC184/SC4推進協議会 議長(JAMA DE部会 副部会長)：石毛 定雄
14:00-14:15	標準維持、活用促進の状況と課題	標準維持タスク リーダ：嵯峨 周司
14:25-14:55	Collaborative BOM Data Exchange標準化(SASIGプロジェクト)の紹介	部品表情報交換タスク リーダ：千古 崇夫
14:55-15:25	OEM-サプライヤ間の電子制御情報流通を支援する“共有ハブシステム”のコンセプト紹介	電子制御情報の交換タスク メンバ：佐藤 命/畑 克依
15:35-16:05	CAE先端技術開発の実施状況	CAE-WG 副主査：松原 大
16:05-16:30	CA x データの同一性検証ツールの実務適用に向けた活動実績と今後の計画	同一性検証ツールの実用性確認 リーダ：武田 健
16:30-16:55	JIS DTPDに準じたJAMA 組立3DAモデル用CAD/PDM機能ガイドライン紹介	3D図面JIS化検討タスク メンバ：皿海 慎也
16:55-17:00	閉会の挨拶	デジタルエンジニアリング部会 副部会長：石毛 定雄

ご清聴ありがとうございました。
引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を
宜しくお願い致します。

午後から行われるデジタルエンジニアリング部会
セッションへのご参加も宜しくお願い致します。